

第10回「地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリーの形成」講習会  
「日本の地球観測衛星を知ろう」

平成19年より、4大学研究所・研究センターが中心となり、「地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリー (VL) の形成」が始まりました。今回は千葉大学環境リモートセンシング研究センター (CEReS) が幹事校として VL 講習会を実施します。記念すべき第10回目となる今回は、講習対象を主に学部学生とし、日本が誇る地球観測衛星群を知ってもらい、リモートセンシングによる地球観測に興味を持ってもらうことをテーマとして実施します。みなさまふるってご参加下さい。

日時：平成28年9月20日(火)午後～9月21日(水)終日

内容：日本の地球観測衛星の紹介

講師：

- 千葉大学 CEReS 樋口篤志 准教授：「地球観測衛星による計測，衛星データ概要，ひまわり8号が捉えた各種現象の解説」
- 九州大学 応用力学研究所 岡本創 副所長/教授：「光と電波で雲・エアロゾルを輪切りにする！雲エアロゾル放射ミッション (EarthCARE/CPR) の概要」
- JAXA EORC 久保田拓志 主任研究開発員：「2周波電波で雨・雪を3次元スキャン！全球降水観測計画/二周波降水レーダ(GPM/DPR)及び全球降水マップ(GSMaP)の概要」
- JAXA EORC 本岡毅 研究開発員：「雲を透過し大地を精密検査！「だいち2号」合成開口レーダ (ALOS-2/PALSAR-2)の概要」
- JAXA EORC 前田崇 研究開発員：「“水”に関する微細な電磁波を大型回転アンテナで捉えよ！水循環変動観測衛星「しずく」(GCOM-W/AMSR2) の概要」
- 東京大学 大気海洋研究所 今須良一 准教授：「大気と陸を繋ぐ炭素循環研究！温室効果ガス観測技術衛星 (GOSAT/GOSAT-2) の目指すもの」

コンピュータ演習 (ひまわり8号データを用いた簡単なコンピュータ演習)

講師：千葉大学 CEReS 眞子直弘 特任助教，豊嶋紘一 特任研究員，岡本浩 特任研究員

場所：千葉大学 環境リモートセンシング研究センター

千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学西千葉キャンパス内

定員：40名としますが、演習会場に入れる限り受け入れる方針です。

遠方からの参加者希望者に対し、可能な限り旅費の援助を行います。

参加申し込み：E-mailにて申し込み ([vllecture\\_2016@ceres.cr.chiba-u.ac.jp](mailto:vllecture_2016@ceres.cr.chiba-u.ac.jp))

参加希望者は、氏名、所属、連絡先 (メールアドレス、電話番号)、研究内容または興味のある分野、旅費希望の有無を明記してお申し込み下さい。

申し込み〆切：8月10日(水)

問い合わせ先：参加申し込みメールアドレスに問い合わせ下さい。